

シグマ研究委員会  
昭和55年度 第5回運営委員会議事録

日 時 昭和55年9月4日(木) 13:30-17:00  
場 所 原研東海研 研2棟322号室  
出席者 中嶋(法大), 宮坂(核管セ), 松延(住友原工), 飯島(NAIG)  
大竹(PNC)  
原田, 更田, 田中, 五十嵐, 菊池(原研)  
オブザーバ : 松本, 浅見(原研)

配布資料

1. 前回(55.8.1)議事録(案)
2. 1980年核データ研究会(案)
3. Updating of Distribution List of NEANDC Documents
4. Tentative Scientific Program, 7th International CODATA Conference
5. Inter-Laboratory Exerciseに関するNEA Data Bankからのletter

議 事

1. 前回議事録確認

資料(1)により確認を行った。

2. 事務局報告

田中氏より, 56年度概算要求で出していた「JENDL-3の作成費」が局査定でおちたことが報告され, これに関連して原田氏, 更田氏より新規のものはなかなか認められないとの実状の説明があった。これに対処する方策について業務協力員制度の利用の可能性, data bookを作成する, 核融合開発との関連を深める, softwareに対する認識を高める等の意見があり議論が行われた。

3. 1980年研究会

浅見氏から資料(2)により1980年核データ研究会のプログラムの概要について説明があった。これに対して, covariance 関係の話は発散する恐れがあるので講

演者に注文を付けた方がよい、予稿をもらったかどうか、プログラムⅡ、Ⅲ、Ⅳ（covariance 関係のセッション）の整合に気を付けること等のコメントがあった。この研究会については学会の特別会合でアナウンスすることにした。

#### 4. NEANDC 配布リスト

田中氏から、NEANDC documents 配布リストを update して欲しいと連絡があったことが報告され、資料(3)の現行リストについて検討を行った。その結果、出された意見を核データセンターでまとめて NEA Data Bank へ返答することにした。

#### 5. 原子力総合シンポジウム

松延氏から学会の運営委員会での審議状況について説明があった後、議論を行った。シグマ研究委員会から提案するテーマは前回の会合で候補に上った医療関係の核データとし、講師には吉田氏（原研・保物）に打診してみて、できなければ今回は見送ることにした。また、一般講演については別途考えることにした。

#### 6. プロGRESS・レポート

田中氏より本年度のPROGRESS・レポートの作成状況について報告があった。約70頁になる予定、CINDAリストができ次第印刷に廻すが、9月中にできる見込である。

#### 7. アナウンス

##### (1) CODATA 国際会議

田中氏より資料(4)によりこの会議の概要ならびに会議の後に NEA Data Bank の Tubbs 氏が原研へ来ることの説明があった。これに関して、日本の核データの activities を示すものを何らかの形で出したらどうかとの意見が出た。

##### (2) NEA Data Bank パンフレット

原子力局が予算要求するための資料として NEA Data Bank に関する資料の作成されたことが報告された。

##### (2) 中国からの訪問団

原研への訪問は9月24日、25日の両日の予定である。

- (4) Dr. Ribon の "average spacing" に関する inter-laboratory exercise  
田中氏及び飯島氏より、NEA Data Bank からの資料(5)について説明があった。この作業への参加については、FP核データWGと相談して処置することにした。

次回は10月24日（金）に東京本部で行う予定